

各位

令和4年8月11日
特別養護老人ホーム 土肥ホーム
施設長 福室悦子

特養入居者の新型コロナウイルス感染について

8/10（水）、土肥ホーム入居者1名が新型コロナウイルスに感染したことが判明致しました。当サービスご利用の皆様には、大変ご心配をお掛け致します事、深くお詫び申し上げます。ご利用されるすべての皆様に安心してご利用いただけます様、引き続き感染対策の強化に努めて参ります。

【保健所の判断、指示について】

○該当の入居者の施設内の行動範囲、接触状況を総合的に判断し、**土肥ホームのすべてのご利用者および職員に濃厚接触者はいない。**

ただし、高齢者入居施設のため随時健康観察を実施し感染拡大防止に努めるよう指示あり。

【初期対応として】

特養利用者1名のコロナ陽性の確認を受け、直ちに特養入所者50名とショート利用者並びに8月8日（月）以降ショート退所された利用者、特養全職員に対して、抗原検査を実施。8月10日時点では、すべての方から“陰性”が確認されました。

【今後のサービス提供について】

ショートステイは感染拡大防止の観点から、当面の間、受入れ中止を致します。デイサービス、ヘルプサービス、居宅支援事業、配食サービス等の在宅サービスは、特に接触状況がないため通常運営を致します。土肥ホームいきいきクラブは開催している建物を感染対策準備室として使用しますので8月15日（月）、18日（木）はサービスを中止いたします。

【今後の感染対策について】

今後も利用者及び職員の体調不良等には注視し、必要に応じ随時抗原検査を活用することで、感染の早期発見に努めて参ります。引き続きご利用されるすべての皆さまが安心して利用できる体制を目指し、関係機関と連携し、職員一丸となって感染拡大防止に努めます。引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。